



## 《大規模疫学・コホート研究の必要性》

【将来の成長に向けた科学技術政策の重要課題(中間とりまとめ)】

(平成21年4月21日、総理大臣が主催する第80回総合科学技術会議において承認)

☆革新的シーズの発掘に向けた基盤整備～革新的医療情報活用～

○倫理面に配慮しつつ、**大規模集団疫学調査データ**とゲノム情報を融合した研究を推進

【健康研究推進戦略策定に向けた提言】(平成21年6月3日、4大臣と有識者から構成される第5回健康研究推進会議において報告)

☆革新的な医薬品・医療機器等を実用化していくためには絶え間ないシーズの発掘が不可欠

《絶え間ないシーズの発掘》

○革新的な手法を用いた展開

・個人情報の保護に十分配慮した上で**大規模疫学調査**に超高速遺伝子解析技術等を融合した研究を実施し、シーズを探索するための研究を推進

**大規模疫学・コホート研究は必須**

【新しい疫学研究】

- ① 疫学情報
- ② 電子化医療情報  
・大規模、大量情報
- ③ ゲノム解析情報  
・新しい知見・技術活用

フィジビリティスタ  
ディを実施し検証

**大規模実施**

【直接的成果】

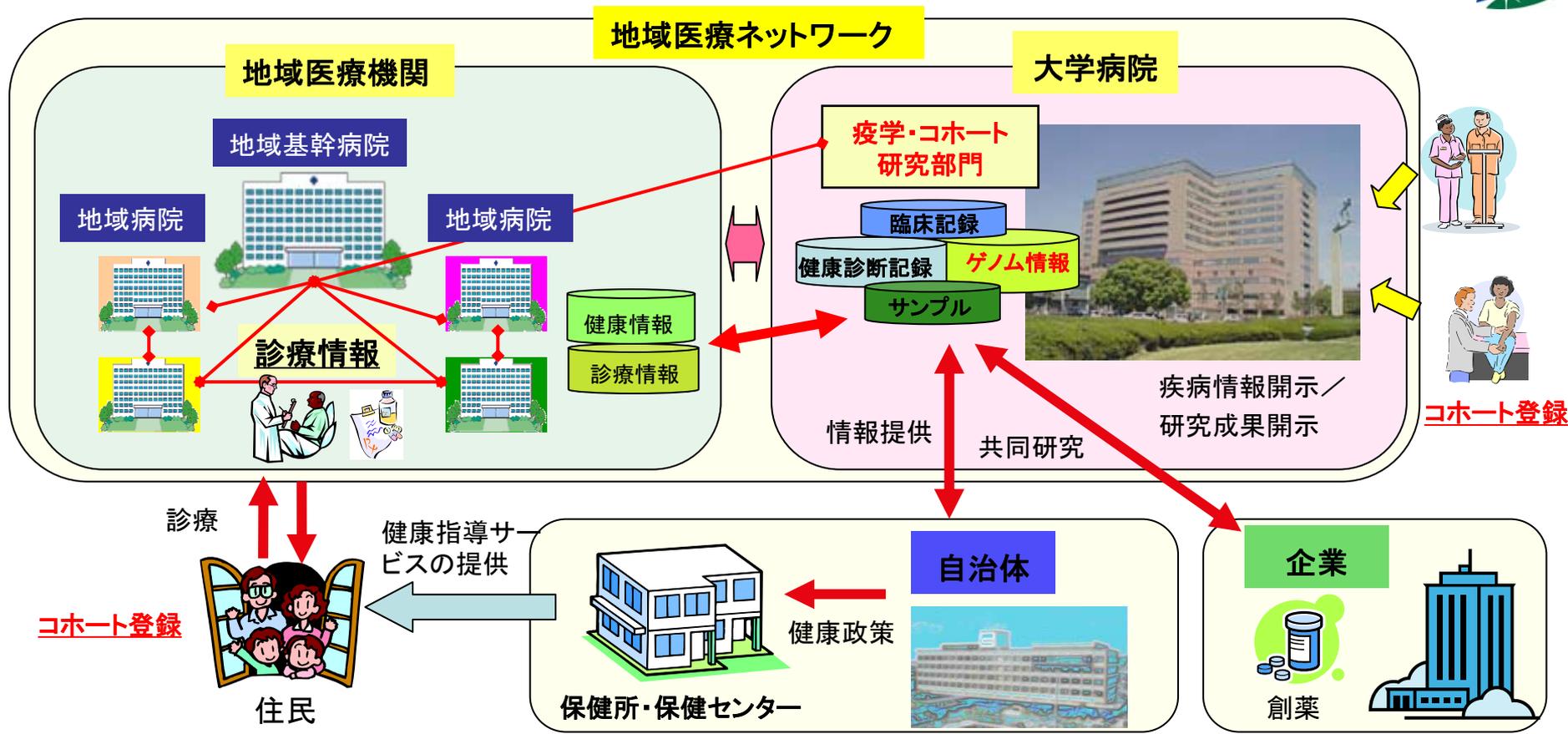
- ・疾患リスク因子の発見
- ・ゲノム疫学研究による疾患メカニズムの解明
- ・日本人に特徴的な薬物反応(作用/副作用)の発見

- ・疾患の予防
- ・革新的治療薬の開発
- ・新規治療法の開発
- ・医薬品の副作用の回避

【期待される成果】

- ・**医療費の抑制**
- ・**革新的治療薬のグローバル販売による経済効果**
- ・**健康長寿社会の実現**

# 健康情報の統合的活用による新しい疫学・コホート研究のイメージ



## (1) 健康情報の収集、解析等のための研究基盤の整備

- ・ 小人数の被験者を登録し、規模の拡大可能な新規システムで疫学研究のフィジビリティスタディを実施
- ・ 従来の疫学研究方法に加えて、電子化された診療情報を集積することにより、より継続的に精度の高い情報に基づく、大規模疫学研究・分析が可能
- ・ 机上のシミュレーションでなく、小規模コホート研究を実施することにより、研究実施上の課題を検出、解決策の発見 (例: 登録者の負担軽減、効率的登録化など)

## (2) 診療情報活用の促進のための医療機関のネットワーク整備

- ・ 個々の電子化済みの医療機関をネットワークで結び、診療情報の有効活用を促進
  - ① 副作用情報共有化により、症例等が増えるため、薬物の有害な相互作用を迅速に発見することが可能
  - ② 検査情報の共有化により、患者の最適治療のための転院時の検査の重複を回避し、医療費を削減可能